

「共生環境学プログラム」の学習・教育目標

- A 自然環境と人間活動との共生をめざし、自然科学、情報科学、人文・社会科学などの基礎知識を広く学び、共生環境学に関する専門基礎知識を身につけ、国際的に認知される技術者として、社会に貢献できる能力とその素養を育む。
 - A1 数学，物理学，化学，生物学，情報技術に関する基礎知識を習得し、その応用能力を身につける。
 - A2 共生環境学に関する専門基礎知識を習得する。
 - A3 人文科学，社会科学などに関する一般教養知識を習得する。
- B 環境情報システム工学専門コースまたは森林資源環境学専門コースを選択して、授業、実験、実習などによって、共生環境システムの創造と開発を行うための専門知識を身につけ、共生環境技術に関する創造能力とデザイン能力を養う。
- C 理解力，思考力，独習能力，問題の設定・解決能力を総合的に養い、地域・地球環境の保全・回復・創造を多面的、総合的に考える能力と素養を身につける。
 - C1 環境および環境との共生に関する問題を解決するために、自ら研究計画を立て、フィールド調査，実験，解析および考察を総合的に行い，研究成果を発表，討論できる能力を身につける。
 - C2 社会や産業の変化に柔軟かつ的確に対応して継続的，自立的に学習する習慣と能力を身につける。
- D 科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響や効果を予測する能力および技術者として社会に対する責任（技術者倫理）を自覚する能力を身につける。
- E 専門技術に関するプレゼンテーション力，文章力，語学力などのコミュニケーション能力を養い，国際的に認知される技術者として社会に貢献できる能力を身につける。